

自治推進に関する取組について

自治推進委員会からの提言に基づく取組のうち、令和4年度第1回自治推進委員会（令和4年10月7日開催）以降に実施した取組を中心に報告します。

1. 丸亀市eモニター制度

【アンケート実施状況】


	アンケートテーマ	担当課	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
1	丸亀市男女共同参画について	人権課	令和4年7月22日～7月31日	317	262	82.6%
2	SDGsについて	秘書政策課	令和4年8月23日～9月1日	323	220	68.1%
3	SNS・ホームページの活用について	広聴広報課	令和4年9月16日～9月25日	321	220	68.5%
4	食品ロス削減について	クリーン課	令和4年10月4日～10月13日	321	227	70.7%
5	丸亀市民ひろばについて	都市計画課	令和4年11月11日～11月20日	323	204	63.2%
6	丸亀市の健康づくり推進について	健康課	令和4年11月21日～11月30日	323	199	61.6%
7	令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について	財政課	令和5年1月19日～1月29日	322	179	55.6%
8	地域学校協働活動について	生涯学習課	令和5年1月30日～2月8日	321	175	54.5%
9	防災について	危機管理課	令和5年2月14日～2月23日	320		
10	丸亀市eモニター制度について	秘書政策課	(3月予定)			

【アンケート活用事例】

- ◎ SDGsの各ゴールを毎月1つずつ紹介する広報紙の連載記事において、eモニターのアンケートで得た「日常生活でのSDGs達成に向けた取組」を紹介

SDGsについて考えよう ～Goal7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに～ 秘書政策課
☎24-8839

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



電気やガスが使えない開発途上国では、伐採木などを燃料としており、環境汚染や健康被害など様々な問題を引き起こしています。

また、日本の電力供給は、火力発電が7割以上で、大部分を石炭・石油などの化石燃料に依存しています。CO₂排出だけの問題でなく、これらの資源は将来的に枯渇することが懸念されています。

一方、太陽光、水力、風力発電など、資源がなくなる心配のない再生可能エネルギーは、CO₂も排出しま

せん。こうしたクリーンなエネルギーを世界中に広めていくことも、このゴールに向けた取り組みのひとつです。

市では、民間住宅や公共施設への太陽光パネル設置を推進するほか、新庁舎には地中熱を利用した空調設備を導入し、電気使用量やCO₂の削減を図っています。

身近なSDGs — 私たちが取り組めること —

今回は丸亀市eモニターアンケートの調査結果から「市民のSDGs」を紹介

- 移動を車に頼らず、公共交通、自転車、徒歩で
- エアコン温度設定、こまめな消灯など節電の徹底

(広報まるがめ令和4年12月号)

- ◎ 男女共同参画についてのアンケートでは、「丸亀市男性の育児休業取得促進奨励金制度」を「まったく知らない」と回答した人が63.4%と多かったため、利用促進に向け、令和5年3月発行の丸亀市男女共同参画情報誌『ゆめ』で奨励金制度の紹介記事を掲載予定

2. 広報まるがめの連載記事「自治基本条例講座」(資料 12)

- ・ 6月号 自治基本条例講座①「丸亀市自治基本条例を知っていますか？」
- ・ 8月号 自治基本条例講座②「まちづくりの主役は市民の皆さんです！」
- ・ 10月号 自治基本条例講座③「コミュニティ活動できめ細やかなまちづくり」
- ・ 12月号 自治基本条例講座④「協働によるまちづくり」
- ・ 2月号 自治基本条例講座⑤「市民参画であなたがまちづくりの主役に」

大きなテーマと捉えられがちな「協働」や「市民参画」を、日常生活においてイメージできるよう具体例を挙げながら紹介した。

3. 中学校における紹介リーフレットの活用

中学3年生の社会科公民の授業(例:地方自治の学習)において、丸亀市自治基本条例を活用していただくよう丸亀市中学校夏季研究大会(社会科部会)にて依頼し、今年度作成したリーフレット等の資料を紹介した。

社会科教員を対象に活用の有無や取り上げ方などを把握するためのアンケートを実施した。(資料 13)

アンケート結果によると、半数以上の教員の方に授業で取り上げていただいたほか、丸亀市自治基本条例を授業で取り上げることに對する意見として、全員が「有効である」または「どちらかというと有効である」という回答を得た。

一方で、授業で取り上げられなかった教員の方の理由としては、時間の都合によるものが多く、来年度は早い時期に依頼することで、より多くの教員の方に授業で取り上げていただき子どもたちへ啓発できるよう、引き続き働きかけたい。